

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2014年第15号(週報・月報合併号)

2014年第15週(4月7日~4月13日)、月報3月

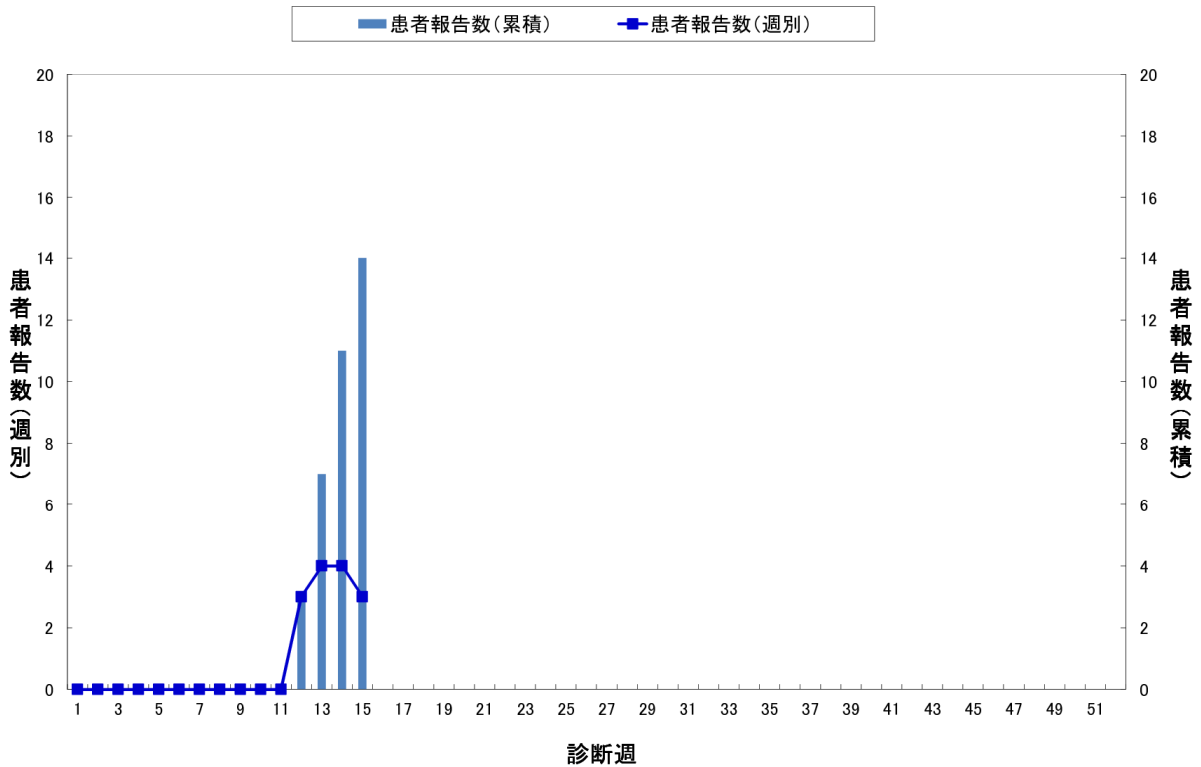
◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

一 麻しん : 和歌山県内における累積患者報告数は14人となる。 一

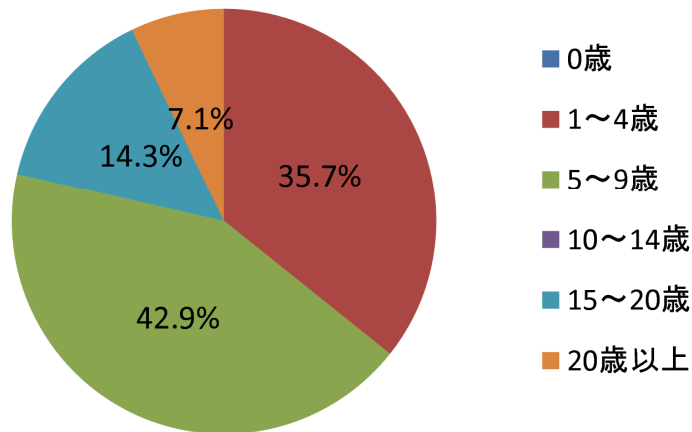
麻しん(はしか)は麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。感染経路は主に空気感染ですが、飛沫感染、接触感染もあります。その感染力は非常に強く、ウイルスの直径が小さいため、うがい・手洗い、マスクの着用による予防が難しいです。麻しんワクチンの接種が有効な予防方法となります。

今週の和歌山県全体の患者報告数は3人で、第1週から第15週までの累積患者報告数は14人となりました。すべて和歌山市保健所管内からの報告となっています。年齢別にみると、5~9歳が42.9%と最も多く、次いで1~4歳が35.7%となっており、10歳未満の患者が8割近くを占めています。

麻しん患者報告数(和歌山県)



年齢別累積報告数割合(和歌山県)



国立感染症研究所感染症疫学センターの感染症発生動向調査によると、2014年の第14週までの全国における累積患者報告数は253人(第13週まで:231人)となり、2013年の累積患者報告数(232人)を越える状況となっています。

近年は成人の麻疹の患者の割合も増加しています。定期接種の対象者だけではなく、医療・教育関係者や海外渡航を計画している成人も、麻疹の罹患歴や接種歴が明らかでない場合は予防接種を検討してください。

麻疹についてはこちら：(国立感染症研究所 HP)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

(麻疹に関する Q&A, 厚生労働省 HP)

<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/index.html>

全国の麻疹に関する統計(第14週分)はこちら：国立感染症研究所 HP

<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/diseases/measles/measles2014/meas14-14.pdf>

風しんワクチン接種に対する助成制度について

和歌山県では、県内の19歳以上50歳未満の妊娠を希望する女性と妊婦の夫を対象とした風しんワクチン接種費用の助成をおこなっています。

詳しくは、現在お住まいの各市町村の保健福祉関係課へお問い合わせください。

助成期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1類感染症：報告はありませんでした。
- 2類感染症：結核 5名
- 3類感染症：報告はありませんでした。
- 4類感染症：報告はありませんでした。
- 5類感染症：麻しん 3名

2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	62
A型肝炎	2
つつが虫病	2
レジオネラ症	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1
侵襲性肺炎球菌感染症	3
破傷風	1
風しん	1
麻しん	14

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

ありません。

注意報レベル

ありません。

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	48	3	13	13	24	2	19	3	1
	定当	3.2	1	2.17	2.17	4.8	0.67	2.71	1	0.5
RSウイルス感染症	報告	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-
咽頭結膜熱	報告	-	-	3	-	-	-	7	-	-
	定当	-	-	0.75	-	-	-	1.75	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	16	-	-	-	1	1	8	-	-
	定当	1.78	-	-	-	0.33	0.5	2	-	-
感染性胃腸炎	報告	59	11	16	9	8	1	13	1	-
	定当	6.56	5.5	4	2.25	2.67	0.5	3.25	0.5	-
水痘	報告	3	-	5	1	1	-	4	-	-
	定当	0.33	-	1.25	0.25	0.33	-	1	-	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	4	1	1	-	5	1	1	-	-
	定当	0.44	0.5	0.25	-	1.67	0.5	0.25	-	-
百日咳	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	0.25	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	4	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	1.33	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	1	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	0.33	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	1	…	-	-	-	-	3	-	…
	定当	0.33	…	-	-	-	-	1.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

3月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が2.36人となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約73%となっています。

【3月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	4	19
	定当	2.36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	0.18	0.36	1.73
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2014 年第 15 号

発行日：平成 26 年 4 月 17 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。